

令和7年度3学年
学習の指針（シラバス）



流山市立おおぐろの森中学校

学習の指針（シラバス）

教科名	国 語	実施学年	3年	週時数	3時間
-----	-----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・言葉による見方・考え方を働かせ、国語に対する関心を深めながら、正確に理解し、適切に表現することができる。
- ・自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて適確に話したり聞いたりする能力を身に付けることができる。
- ・自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身に付け、文章を書くことができる。
- ・目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身に付け、読書を生活に役立て、自己を向上させることができる。
- ・表現と理解に役立てるための、漢字や文法等について理解し、知識を身につけ、正しく整った文字を書くことができる。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい	備 考 (時間)	評価
第 1 学 期	4	●詩 ・春に ●随筆 ・立ってくる春	・詩の内容がイメージできるように音読できる。 ・言葉の中の春を読む。 ・表現上の工夫とその効果に注意して読み、作品の魅力を味わう。	27	プリント 定期テスト 和歌 作文 小テスト 作品 音読
	5	●随筆 なぜ物語が必要なのか	・筆者のものの見方や考え方をもとに、自分の意見をまとめることができる。文章における論理の構成や展開、文脈における語句の効果的な使い方などを理解する。		
		●小説 ・「私」	・文章の表現の仕方について、表現する。 ・物語の展開の仕方などを捉える。		
	6	●読書 ・薔薇のボタン ・構成を工夫して主張をまとめる	・戦争の悲惨さについて知る。 ・目的に応じて図書室の本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする。		
		●メディアと表現 ・メディアリテラシーはなぜ必要か ・新聞が伝える情報を考える ・ニュースで情報を編集する	・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。 ・メディアの特性を理解し、メディアからの情報を批判的にとらえる。また、編集を通して適切に表現する。		
	7	●言語 ・漢字の広場呉音・漢音・唐音	・漢字の音の歴史についての理解を深める。		
		●俳句 ・俳句の味わい	・俳句の情景を想像して文章にまとめる。文語定型詩を読み味わう。表現上の工夫に注意して暗唱する。		
		●論説 ・AIは哲学できるか ・客観性や信頼性のある記事を書く	・筆者の提起している課題を共有し、筆者の考えに対する自分の意見を持つ。		
		●書写 「毛筆・硬筆」	・速くきれいに美しく書く。		

第2学期	9 ●論説 ・async 同期しないこと ・問いかける言葉 ・説得力のある批評文を書く ●実用文の情報を捉えて生かす ●古文 ・和歌の調べ - 万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 10 ●古文 ・旅への思い芭蕉と『おくのほそ道』 ●漢文 ・風景と心情—漢詩を味わう— 11 ●文法 ・敬語、付属語 ●読書 ・最後の一句 ●表現 ・対話力とは何か ・意見を共有しながら話し合う 12 ●言語 ・異字同訓、ことわざ、慣用句 ●書写 「毛筆・硬筆」 ●小説 ・故郷 ●評論 ・青春の歌	・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考える。 ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。 ・実用文の特徴を理解し、社会生活の中で生かす。 ・古人のものの見方や考え方について、話し合ったり、文章を書いたりして、自分の考えを深める。和歌の技法や歴史的背景を理解しながら、響きを味わう。 ・文語のきまりを知る。歴史的背景に注意しながら文章の特徴を理解して読む。古人のものの見方や考え方について、自分の考えをまとめる。 ・漢詩の形式や表現の工夫などを理解して暗唱し、作品の響きを味わう。歴史的背景をふまえて、情景の描写を捉え、心情を理解して考えを深める。 ・文法の役割について理解する。 ・有名作家とその作品について触れ、近代小説や物語を読む。 ・相手の考えを評価しながら、自分の考えを広げ深める。 ・話し合いの進行の仕方を工夫して、合意形成を行う。 ・異字同訓について理解を深める。 ・ことわざ、慣用句について理解を深める。 ・速くきれいに美しく書く。 ・理解や表現のために必要な語句の量を増やし、話や文章のなかで意識的に使用する。 ・一人称の語り方について理解し、作品の表現の仕方を評価する。 ・現代短歌とその批評を読み、短歌の世界の魅力にふれる	42	プリント 小テスト 定期テスト 作品 音読
------	--	---	----	--

第 3 学 期	1	●表現 ・200字作文を書こう	・自分の考えや思いを条件に従って200字にまとめることができる。	21	プリント 作品 定期テスト 音読
	2	●詩 ・やわらかな想い ●詩 ・初恋 ●読書 ・バースデイ・ガール	・作品中の描写や「記号」にどのような効果があるのかを考える。 ・情景や心情描写に目を向け、登場人物の心情を読み取る。 ・自分の読書生活を振り返り、さまざまな本や文章を読む。		

3 評価について

観点	評価の観点及び内容	評価材料
主体的に 学習に取り組む態度	・授業や学習課題において、知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりすることにむけて、見通しをもって粘り強く取り組むことができる。	授業中の様子 提出物の状況 単元ごとの振り返り
思考力 判断力 表現力	・目的や場所に応じ、筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりしていることができる。(聞き取りテスト、「話すこと・聞くこと」単元の学習課題等)	スピーチテスト 発表 定期テスト
	・自分の考えを深め、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に、指定された文字数で文章を書くことができる。(定期テスト、「書くこと」単元の学習課題等)	作文 提出作品 定期テスト
	・目的に応じて、様々な文章を的確に読み取り、理解することができる。(定期テスト、「読むこと」単元の学習課題等)	単元テスト 定期テスト
知識 技能	・言葉の特徴や使い方に関して、表現と理解に役立てるために漢字や文法等について理解し、適切に表現することができる。 (定期テスト、言語事項に関する授業内テスト、書写の作品等)	漢字テスト 文法テスト 定期テスト

☆オクリンク・Teams による授業参加や課題の提出も評価の対象とする。

4 教材等について

- ・教科書：伝え合う言葉3(教育出版)
- ・副教材：明治図書『よくわかる国語の学習』、秀学社『単元別漢字』

学習の指針（シラバス）

教科名	社会	実施学年	3年	週時数	4時間
-----	----	------	----	-----	-----

1、学習の目標

- ・我が国の歴史の大きな流れを理解し、各時代の特色を理解できる。
- ・歴史的事象について考察、判断しその成果を自分の言葉で表現できる。
- ・民主政治の意義としくみ、国民の生活向上と経済活動、国際的な相互依存関係について理解できる。

2、学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考	評価
第1学期	4	【歴史的分野】27時間 ●5章 開国と近代日本のあゆみ ・4節 日清・日露戦争と近代産業	・日本で近代産業が発展したことを、大陸との関係や国内外の反応、韓国の併合などから理解する。 ・第二次世界大戦後、国際社会に復帰するまでの日本の民主化と再建の過程や国際社会への参加について理解する。 ・現代の日本社会の特色と現状についての理解を深め、現代社会をとらえる見方や考え方を身につける。	5時間	小テスト 単元テスト 授業課題 定期テスト ワーク提出
	5	●6章 二度の世界大戦と日本 ・1節 第一次世界大戦と日本		15時間	
	6	・2節 大正デモクラシーの時代 ・3節 世界恐慌と日本の中国侵略 ・4節 第二次世界大戦と日本			
	7	●7章 現代の日本と私たち ・1節 戦後日本の出発 ・2節 冷戦と日本の発展 ・3節 新たな時代の日本と世界		7時間	
第2学期	9	【公民的分野】90時間 ●1章 現代社会と私たち ・1節 現代社会の特色と私たち ・2節 私たちの生活と文化 ・3節 現代社会の見方や考え方	・基本的人権についての理解を深め日本国憲法の基本的原則を具体的な生活との関わりからとらえるとともに、民主的な生活のためには、法に基づく政治が大切であることを理解する。 ・日本の民主政治のしくみについて国の政治と地方の政治のそれぞれの特徴を理解し、国民の政治参加の意義について考える。 ・経済活動の意義と市場経済の基本的な考え方、生産や金融の仕組みを理解し、企業の役割と責任について考える。	4時間	小テスト 単元テスト 授業課題 ワーク提出 定期テスト 定期テスト ノート点検 ワーク提出
	10	●第2章 個人の尊重と日本国憲法 ・1節 人権と日本国憲法 ・2節 人権と共生社会 ・3節 これからの人権保障		25時間	
	11	●3章 現代の民主政治と社会 ・1節 現代の民主政治 ・2節 国の政治の仕組み ・3節 地方自治と私たち		25時間	
	12	●4章 私たちの暮らしと経済 ・1節 消費生活と経済 ・2節 生産と労働 ・3節 市場経済の仕組みと金融 ・4節 財政と国民の福祉		35時間	

		・ 5 節 これからの経済と社会			
第 3 学 期	1	● 5 章 地球社会と私たち ・ 1 節 国際社会の仕組み ・ 2 節 さまざまな国際問題 ・ 3 節 これからの地球社会と日本	・ 国際協調の観点から、日本の国際的な役割について考え、世界平和を確立するための熱意と協力の態度を身につける。 ・ 持続可能な社会を形成するという観点から、自分の考えをまとめる。	15 時間	小テスト 単元テスト 授業課題 ワーク提出 定期テスト
	2	● 終章 より良い社会を目指して		5 時間	

3、評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
社会的事象についての知識・技能	社会的事象の知識及び技能の習得状況と、知識及び技能を関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしている。	・ 定期テスト ・ 小テスト ・ 授業課題
社会的な思考・表現・判断	社会的事象の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	・ 定期テスト ・ 授業課題 ・ 授業プリント ・ 授業中の記録
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象の知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしている。	・ 定期テスト ・ 授業課題 ・ 授業プリント ・ 授業中の記録

4、家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・ 副教材としてワークを購入します。予習・復習で活用してください。定期的に提出とします。提出の際には、整理ノートに書き込み提出してください。（繰り返し学習できます。）
- ・ 日ごろから、授業でやった部分のワークを進めておけるとよいでしょう。
- ・ 夏休みに自由課題を案内します。（昨年度：“税の作文” 作文）全員に案内しますので、希望者のみ提出してください。

5、教材等について

- ・ 教科書：東京書籍「新しい社会 歴史」「新しい社会 公民」
- ・ 副教材：学宝社『学習整理 歴史2・3』 正進社「公民の完全学習（整理ノート）」
- ・ その他：ノート（昨年度から使用しているもので構いません）、A4 ファイル、色ペン

学習の指針（シラバス）

教科名	数学科	実施学年	3年	週時数	4時間
-----	-----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・身近なものから主体的に数学的な事項を見いだすことができる。
- ・学んだ知識を活用・思考し、課題に一生懸命取り組み、自分の考えを数学的用語を用いて表現できる。
- ・課題解決に向け主体的に仲間と協働できる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4	●1章 式の展開と因数分解 ・1節 式の展開と因数分解	・自然数の積のきまり、因数と素数の意味を理解し、式の展開や因数分解ができる。 ・展開や因数分解を利用し、計算や証明ができる。	19時間	定期テスト 単元テスト 小テスト 予習プリント
	5	・2節 式の計算の利用			
	6	●2章 平方根 ・1節 平方根 ・2節 根号をふくむ式の計算 ・3節 平方根の利用	・平方根の意味と、根号の使い方を理解できる。 ・平方根を使った式の計算ができる。 ・平方根を利用し、計算や証明ができる。	16時間	
	7	●3章 二次方程式 ・1節 二次方程式	・二次方程式とその解の意味を理解し解くことができる。 ・解の公式を理解することができる。	15時間	
第2学期	9	・2節 二次方程式の利用 ●4章 関数 $y=ax^2$ ・1節 関数とグラフ	・二次方程式を利用した問題を解くことができる。 ・関数 $y=ax^2$ のグラフとその特徴を理解することができる。	17時間	定期テスト 単元テスト 小テスト 予習プリント
	10	・2節 関数 $y=x^2$ の値の変化 ・3節 いろいろな事象と関数	・変化の割合を求めることができる。 ・身の回りの事象について考え、適切な解き方ができるようにする。	23時間	
	11	●5章 図形と相似 ・1節 図形と相似 ・2節 平行線と線分の比	・相似な図形の性質、相似比を理解することができる。 ・相似な図形の性質、相似比を用いて線分の比を求めることができる。		
	12	・3節 相似の図形の計量 ・4節 相似の利用 ●6章 円の性質 ・1節 円周角と中心角 ・2節 円の性質の利用	・相似な三角形の証明ができる。 ・相似を利用して中点連結定理や平面および空間図形における様々な問題を解くことができる。 ・円周角と中心角の性質を理解することができる。 ・円の性質を用いて作図や証明問題を解くことができる。	10時間	
		●7章 三平方の定理 ・1節 三平方の定理	・三平方の定理を証明することができる。	13時間	
	1	・2節 三平方の定理の利用	・三平方の定理を用いて、様々な図形の長さを求めることができる。	6時間	
		●8章 標本調査 ・1節 標本調査	・標本調査によって、母集団の傾向を推測することができる。	12時間	
	2	●入試対策	・入試対策問題を通して、既習内容の振り返りを行うことができる。		
第3学期					

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	- 基本的な概念、原理、法則、用語、記号などを確実に理解し、基本的な知識を身につけている。 - 数量の関係について、数学的に表現や処理をすることができる。	定期テスト 単元テスト 小テスト
思考・判断・表現	- 事象を数学的に捉え、論理的に考えようとする。 - 既習事項を元に、発展的に考えたりすることができる。 - 授業中に論理的に説明・発表などに取り組もうとする。	定期テスト 単元テスト 小テスト
主体的に学習に取り組む姿勢	学習内容に興味を持ち、自ら課題を見出し取り組むことができる。	予習プリント 定期テスト・単元テスト・小テストの解き直し

【観点ごとの評価方法】

1 「主体的に学習に取り組む態度」

予習業プリント、定期テスト・単元テスト・小テストの解き直し

- ① 「予習プリント」…単元または節のはじめに取り組む予習おプリントです。「主体的に学習に取り組む態度」に関して評価します。基本的には、A・B・Cの三段階評価をしていきます。詳細に関しては、最初の授業で行うガイダンスで説明します。
- ② 「定期テスト・単元テスト・小テストの解き直し」…各テストでは振り返りや解き直しに取り組めます。これに関しても、A・B・Cの三段階評価をしていきます。詳細に関しては、最初の授業で行うガイダンスで説明します。

2 「知識・技能」, 「思考・判断・表現」

定期テスト、小テスト、単元プリントで評価する。

- ① 「定期テスト」…前期2回、後期2回の全4回実施する。
- ② 「単元テスト・小テスト」…単元や節ごとに実施します。

【その他】

1 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・復習が大切な教科です。授業で学んだ内容のワークを進めたり、学習プリントを見直したりしましょう。復習を行うことで、知識、技能の定着に繋がります。
- ・ワークは定期的に提出します。授業や家庭学習で取り組みましょう。
- ・授業用ファイルを用意し、毎時間配付されたプリントを確実に保管していくようにしましょう。

2 教材等について

- ・教科書：教科書→東京書籍『新しい数学2』
- ・副教材：副教材→正進社『数学の学習ノート2年』
- ・その他：ファイル1冊、ノート、コンパス、三角定規、分度器、を授業のときに準備します。

学習の指針（シラバス）

教科名	理科	実施学年	3年	週時数	4時間
-----	----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・仲間と協力して学び合いながら、自然の事物・現象について進んで関わり調べられる生徒・
- ・自然の事物・現象から課題を見出すことができる生徒
- ・先行経験や既習事項を元にして自然の事物・現象について科学的に思考できる生徒
- ・基本操作を身につけ、実験、観察を通して自然の事物・現象を調べられる生徒

2 学習計画及び評価方法 週3コマ

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
1 学 期	4 5	単元1 生命の連続性			(年間) ワークシート 授業用ノート 授業の様子 課題 実験レポート
		1章 生物のふえ方と成長	生物のふえ方には、無性生殖と有性生殖の2つがあることを見だし、その違いを理解させる。また、生物の成長を細胞の分裂と関連づけて捉えさせるとともに、有性生殖における減数分裂について理解させる。	10時間	
	6	2章 遺伝の規則性と遺伝子	生物がふえていくとき、染色体にある遺伝子を介して親から子へ形質が伝わること、そしてその伝わり方に規則性があることを理解させる。	8時間	第1回定期テスト
		3章 生物の種類の多様性と進化	現存の多様な生物は過去の生物が長い時間の経過の中で変化して生じてきたものであることを体のつくりと関連づけて理解させる。また、生物の間のつながりを時間的に見ることを通して進化の概念を身につけさせる。	5時間	
		単元2 化学変化とイオン			
	7	1章 水溶液とイオン	水溶液には電流が流れるものと流れないものがあることを見だして理解させる。また、イオンの存在を見いださせ、イオンの生成が原子の成り立ちに関係することを理解させる。	9時間	
		2章 電池とイオン	金属によってイオンへのなりやすさが異なることを見いださせ、イオンのモデルと関連づけて理解させる。また、電池では化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることに気づかせるとともに、イオンのモデルを用いて電池の基本的なしくみ	8時間	

2 学 期	9	3章 酸・アルカリと塩	を説明できるようにする。さらに、いろいろな電池に関心をもたせ、燃料電池の原理についても紹介する。	11時間	第2回定期テスト
		単元4 宇宙を観る			
	10	1章 宇宙の天体	酸やアルカリのそれぞれの性質が水素イオンと水酸化物イオンによることを見いださせるとともに、電離のようすをイオンのモデルを用いて説明できるようにする。また、酸とアルカリが反応すると塩と水ができることを見いだし、中和反応をイオンのモデルを使って説明できるようにする。	6時間	
		2章 太陽と恒星の動き	太陽の観察記録や資料から、太陽の形や大きさ、表面のようすなどの特徴を見い出して理解させたり、惑星と恒星の特徴や太陽系の構造を理解させたりするとともに、太陽の表面を観察したり記録したりする技能を身につけさせる。	9時間	
	11	3章 月と金星の動きと見え方	天体の日周運動が地球の自転による相対運動であることを理解させるとともに、地球が公転していることや地軸が傾いていることを理解させ、天体の動きを観察する技能を身につけさせる。	6時間	第3回定期テスト
		単元5 自然と人間	月や金星の観察記録などから、見え方を月や金星の公転と関連づけて理解させるとともに、月や金星の動きや形を観察したり記録したりする技能を身につけさせる。		
		1章 自然界のつり合い	植物、動物および微生物を、栄養摂取の面から相互に関連づけて捉えるとともに、自然界では、これらの生物がつり合いを保って生活していることを理解させる。	6時間	
	12	2章 さまざまな物質の利用と人間	日常生活や社会では、さまざまな物質が使用目的や用途に応じて使い分けられていることを認識させ、物質を有効利用するためには、再利用などが大切であることに気づかせる。	6時間	

3 学 期	1	3章 科学技術と人間	科学技術の発展の過程について、どのようなものがあるかを理解させ、さまざまな科学技術の利用が人間の生活を豊かで便利にしていることを認識させる。また、最新の科学技術について調べさせ、これからの科学技術の発展の方向性を、科学的根拠をもって検討させる。	3時間	第4回定期テスト
	2	4章 人間と環境	身近な自然環境や地域の自然災害について調べ、人間の活動などのさまざまな要因が自然環境に影響をあたえていることについて理解させ、自然環境を保全することの重要性を認識させる。	9時間	
	3	5章 持続可能な社会をめざして	科学技術の発展と人間生活とのかかわり方について多面的、総合的に捉えさせ、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について科学的に考察させ、持続可能な社会をつくることの重要性を認識させる。	5時間	

週1コマ

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
1 学 期	4 5 6	単元3 運動とエネルギー 1章 力のつり合い	水中にある物体には浮力がはたらくことを見いださせ、重力と浮力のつり合いの関係から、浮き沈みのしくみを理解させる。次に、合力を導入し、作図によって合力を求めることができるようにする。最後に、分力の求め方を理解させる。	9時間	(年間) ワークシート 授業用ノート 授業の様子 課題 実験レポート 第1回定期テスト
		2章 物体の運動	記録タイマーなどを使って、物体の速さや運動のようすを調べる方法を身につけさせ、物体にはたらく力と運動の関係を理解させる。	11時間	第2回定期テスト
2 学 期	11 12	3章 仕事とエネルギー	仕事の定義を理解させ、仕事の原理を見いださせる。また、仕事をする能力としてエネルギーを定義し、位置エネルギーや運動エネルギーの大きさと、物体の高さや質量、速さとの関係を見いださせ	9時間	第3回定期テスト

3 学 期			る。摩擦や空気の抵抗がなければ、力学的エネルギーが保存されることを理解させる。		
	1 2	4章 多様なエネルギーとその移り変わり	身のまわりのさまざまなエネルギーについて気づかせ、それらのエネルギーはどのように移り変わるか理解させるとともに、エネルギーの総量は一定に保たれることを理解させる。	5時間	第4回定期テスト
	3	5章 エネルギー資源とその利用	人間は多様なエネルギー資源を消費して活動していることを知り、将来にわたってエネルギー資源を確保し、安全で有効な利用と環境保全をはかることの重要性を認識させる。	5時間	

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的に探究するために必要な観察・実験・記録に関する基礎技能を身につけている。	・定期テストの知識・技能の問題 ・実験レポート・実験観察の記録 ・実験器具の扱い方や基本操作 ・小テスト（単元テスト） など
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見出し、見通しをもって観察・実験を行い事象や結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究している。	・定期テストの思考の問題 ・実験レポートでの考察・表現 ・小テスト（単元テスト） ・授業での発言に見られる考察・表現 など
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりして、科学的に探究しようとしている。（粘り強く取り組んだり、学習を調整しようとしたりしている。）	・定期テストなどへの取り組み ・授業への取り組み ・ミライシードへの取り組み など

4 家庭学習（復習、提出物等）について

- ・教科書の少なくとも節ごとに、ワークの問題、教科書の問題を解き、知識、思考、技能を定着させる。
- ・ワーク（副教材）については、定期的に活用する。授業中にも練習問題として時間を取るの持参していく。

5 教材等について

- ・教科書：啓林館「未来へひろがるサイエンス 3年」
- ・副教材：進学社「理科の自主学習 3年」
- ・その他：授業で配布するワークシートやオクリンク、チームスでの課題配付

学習の指針（シラバス）

教科名	音楽科	実施学年	3年	週時数	1時間
-----	-----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び、音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けることができる。
- ・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽評価をしながらよさや美しさを味わって聴くことができる。
- ・主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しむができる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4 5	曲想を生かして、表現を工夫しよう 「校歌」	・歌詞の内容や、音の重なり方の違いなどから曲想の変化を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ・最上級生としての気持ちの高まりを歌声に込めて、おおぐろ中の伝統となっている曲を歌い上げる。	2	評価カード (毎時間)
		日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう 「花」	・曲想や音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、日本の歌のもつ情緒を味わい、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。	3	歌唱テスト
	6	日本の伝統芸能の特徴を理解して、その魅力を味わおう 能「敦盛」	・我が国の伝統音楽の特徴とその特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、能の美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	3	鑑賞プリント
	7	ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう 「ポピュラー音楽」	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	2	鑑賞プリント
		ルールを守って音楽を楽しもう！	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	1	ワークシート
		合唱コンクール曲選曲		1	
		音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう 「ブルタバ」(モルダウ)	・曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解するとともに、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	3	鑑賞プリント

第2学期	9 10	音階の特徴及び音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう カトカトーン	・音階の特徴及び音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して音楽を作る	3	創作ワークシート 作品提出
	11	パートの役割を理解し、曲想を生かして、表現を工夫しよう 合唱コンクール学年課題曲 合唱コンクール学級自由曲	・歌詞の内容や曲想を味わい、音の重なり方やパートの役割を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して合唱する。 ・作品のイメージをふくらませながら表現を工夫して、クラスの力で合唱曲を仕上げる。 ・さまざまな合唱を聴き合って、表現を高め合う。	8	歌唱テスト
	12 1	世界の諸民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	・我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	2	鑑賞プリント
第3学期	1 2	日本の伝統楽器に親しもう	・箏の音色を味わいながら演奏する。	3	観察評価
		仲間とともに、表情豊かに合唱しよう 3年生を送る会学年合唱曲 卒業式答辞の歌、卒業の歌	・歌詞の内容や曲想を味わい、言葉と旋律とのかかわりやパートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。 ・「3年生を送る会」「卒業式」に向けて、さまざまな合唱曲に取り組み、表現力と合唱を愛好する心情を育てる。 ・3年間で振り返り、思い出深く合唱活動に参加するとともに、3年間の集大成となるような合唱を響かせる。	4	歌唱プリント 歌唱テスト

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	☆観察評価 パート練習・全体練習 ☆授業プリント ☆歌唱・創作テスト
思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもたせ、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたり、批評文を書いたりしている。	☆観察評価 パート練習・全体練習 ☆授業プリント ☆歌唱・創作テスト
主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。また、学んだ内容を自分の生き方や考え方に生かそうとしている。	☆観察評価 パート練習・全体練習 ☆授業プリント ☆歌唱・創作テスト ☆自己評価カード

☆印の項目は、授業を欠席した場合、オンラインでの演奏や、オクリンクでのワークシート提出により評価に含めることができます。

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・楽譜が配られたら、音楽記号に○をつけましょう。
- ・新曲に取り組む際は、音取り係はパート練習で困らないように、担当しているパートの音取りをしておきましょう。
- ・歌唱テストを行います。一人でも、堂々と歌えるように練習をしておきましょう。
- ・鑑賞プリント等の提出物は、必ず提出しましょう。

5 教材等について

- ・教科書：中学生の音楽2，3年上、下 中学生の器楽（教育芸術社）＝音楽室に保管できます
- ・その他：音楽ファイル

学習の指針（シラバス）

教科名	美術科	実施学年	3年	週時数	1時間
-----	-----	------	----	-----	-----

1 学習の目標（社会に発信する）

- ・対象や事象を捉える造形的な視点を理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追究し、創造的に表すことができる。
- ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的、創造的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
- ・主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していくことができる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4	オリエンテーション 鑑賞（アートカード）	・美術の学習内容を知る。 ・鑑賞を通して美術作品のよさや美しさに関心をもつ。	1時間	ワークシート（自己評価カード）
	5	日本美術史（仏教文化）	・日本の伝統的な建築物や仏像を知識を深めると共にその美しさを感じ守って いこうとする意識を深める事ができる。	1時間	ワークシート（自己評価カード）
	6	商品開発デザイン	・メッセージや商品の特徴を伝える画像の選定や配色、レイアウトなどのデザインを考え、ICTを活用して表現する。 ・デザインに関心を持ち、地域に向けた商品開発、社会への関心を高める。 (canva)	10時間	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 作品(canva) オクリンクや Teams 提出作品
	7	商品開発発表会 鑑賞	・商品を分かりやすく伝える。 ・自他の作品を鑑賞し、よさや美しさ、表現の工夫を感じ取る。	2時間	ワークシート (自己評価カード)
第2学期	9	卒業制作	・伝統工芸のよさや美しさを感じ取り、美術文化の見方や感じ方を広げる。 ・材料の特性を生かしたよさや美しさ、制作方法を理解して表現する。 ・自他の作品を鑑賞し、よさや美しさ、表現の工夫を感じ取る。	13時間	ワークシート (自己評価カード) 制作の様子
	10				
	11				
	12				
第3学期	1	鑑賞	・作品のよさや美しさ、作者の意図を感じ取り、美術文化の見方や感じ方を広げる。	8時間	ワークシート 活動の様子
	2				
	3				

※授業数や行事の関係で学習内容が前後することがあります。

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	形や色彩、材料、光の性質、それらが感情にもたらす効果を理解しているか、また材料や用具の生かし方を身につけ、意図に応じて自分の表現方法を追究し、見通しを持って創造的に表すことができるかを、提出作品より判断をする。	提出作品 制作の様子 ワークシート (自己評価カード)
思考・判断・表現	感じ取ったことや考えたこと、伝える相手や使う人の気持ち、環境や社会との関わりから主題を生み出し、総合的に考えながら心豊かに構想を練ることができるか、また美術作品から造形的な良さや美しさを感じ取ることができるかを鑑賞プリントや提出作品などから判断する。	アイデアスケッチ 鑑賞プリント 発表の姿勢 提出作品 ワークシート (自己評価カード)
主体的に学習に取り組む姿勢	美術的な知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し技能の練習や調べ学習など学習の進め方について試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかを提出物や作品、制作の進め方などで判断する。	鑑賞プリント 提出作品 制作の様子 発表の姿勢 ワークシート (自己評価カード)

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・美術と社会のつながりに関心を持ち、映像や美術作品を見たり調べたりすると表現の幅が広がります。
- ・提出物は、期限内に提出できるようにしましょう。

5 教材等について

- ・教科書：美術 2・3 （開隆堂）
- ・副教材：美術ファイル
- ・その他：ポスターカラー、タブレット

6 ICT

- ・タブレットを活用した授業を行います。

学習の指針（シラバス）

教科名	保健体育（男子）	実施学年	3年	週時数	3時間
-----	----------	------	----	-----	-----

1 学習の目標

〔体育分野〕

- ・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。
- ・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けることができる。
- ・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をすることができる。

〔保健分野〕

- ・個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。
- ・健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができる。
- ・生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養うことができる。

2 学習計画及び評価方法等

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考	評価
第1学期	4	●体づくり	・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、心と体をほぐしたり、体の動きを高めたりする方法などを理解するとともに、目的に適した運動を身に付け、組み合わせることができる。	3	技能テスト 学習カード 定期テスト 学習への取り組み
	5	●バスケットボール	・基本的なボール操作を身に付け、練習やゲームで使い分けができる。 ・パス、ドリブル、シュートなどの技能を身に付け、様々な攻め方や組織的な守り方ができる。 ・互いに協力し励まし合いながら進んで練習や競技を行うことができる。	9	
	6	●柔道	・技ができる楽しさや喜びを味わい、柔道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開することができる。	9	
	7	●水泳 ●器械運動	・記録の向上に向けて、基本的な動きを身に付けることができる。災害時などどのように対応するとよいのか、安全面の学習をすることができる。 ・技ができる楽しさや喜びを味わい、器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、技をよりよく行うことができる。	10 8	
	9 10	●ダンス ●陸上競技	・イメージをとらえた表現や踊りでの交流を通して、仲間とのコミュニケーションを豊かにする。 ・積極的に取り組み、仲間の良さを認め合うことなどに意欲を持ち健康や安全に気を配ることができる。 ・記録の向上や競争を楽しみ、基本的な動きや効率の良い動きを身に付けることができる。	6 10	技能テスト 学習カード 定期テスト 学習への取り組み

2 学期	11	●バレーボール	・基本的なボール操作を身につけ、練習やゲームで使い分けができる。 ・サーブ、アタック、レシーブなどの技能を身につけ、様々な攻め方や組織的な守り方ができる。 ・互いに協力し励まし合いながら進んで練習や競技を行うことができる。	10	
	12				
3 学期	1	●長距離走	・記録の向上に関心を持ち、更に向上をしようとする態度をとることができる。 ・基礎的、基本的な技能を身につけ、速い動きの攻め方や相手を決めて守り方が素早くできる。 ・課題や作戦などについて考え、練習に生かしていくことができる。 ・チーム内の役割分担をし、組織的な攻め方や守り方ができる。 ・基本的な技能を身に付け、ラリーやゲーム展開ができる。	9	技能テスト 学習カード 定期テスト 学習への取り組み
	2	●テニス		10	
	3	●卓球		6	

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
運動や健康・安全への 知識・技能	・体力テストの測定方法を理解し、正確に実施したり、測定したりすることができる。 ・リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ることができる。 ・チームや自分の能力に適した課題の練習やゲームを通して集団的スキルや個人スキルを高めることができる。 ・体力測定の測定方法と結果の活用について理解することができる。 ・練習の仕方や場づくりの方法、練習計画の立て方、技のできばえの確かめ方を知ることができる。 ・競技の運営やルール・審判の方法を知ることができる。	☆技能テスト ☆学習の取り組み ☆定期テスト ☆学習の取り組み
運動や健康・安全についての 思考・判断・表現	・体力測定の結果を知り、日常生活において運動の生かし方を整理することができる。 ・練習の進め方や場づくりの方法を選んだり、技のできばえを確かめたりすることができる。 ・ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を選ぶことができる。	☆学習の取り組み ☆学習カードの記述
主体的に学習に 取り組む態度	・体力の意義と体力の高め方について関心を持ち、進んで安全に学習に取り組もうとすることができる。 ・仲間と協力して教えあったり、練習の場を整えたり、補助しあったりして進んで運動に取り組むことができる。 ・ルールや作戦に応じて、勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わうことができる。	☆学習の取り組み ・見学、欠席 ・提出物 ・安全面

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・授業に応じて適宜学習カードの提出があります。

5 教材等について

- ・教科書→新版 中学校保健体育（大日本図書）
- ・副教材→保健体育ノート（大日本図書）、ファイル

学習の指針（シラバス）

教科名	保健体育（女子）	実施学年	3年	週時数	3時間
-----	----------	------	----	-----	-----

1 学習の目標

〔体育分野〕

- ・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。
- ・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けることができる。
- ・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をすることができる。

〔保健分野〕

- ・個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。
- ・健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができる。
- ・生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養うことができる。

2 学習計画及び評価方法等

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考	評価
第1学期	4	●体づくり	・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、心と体をほぐしたり、体の動きを高める方法などを理解するとともに、目的に適した運動を身に付け、組み合わせたりすることができる。	3	技能テスト 学習カード 定期テスト 学習への取り組み
	5	●陸上競技 ●バスケットボール	・記録の向上や競争を楽しみ、基本的な動きや効率の良い動きを身に付けることができる。 ・基本的なボール操作を身に付け、練習やゲームで使い分けができる。	9 9	
	6	●水泳	・パス、ドリブル、シュートなどの技能を身に付け、様々な攻め方や組織的な守り方ができる。 ・互いに協力し励まし合いながら進んで練習や競技を行うことができる。	10	
	7	●バレーボール	・記録の向上に向けて、基本的な動きを身に付けることができる。災害時などどのように対応するとよいのか、安全面の学習をすることができる。	8	
			・基本的なボール操作を身に付け、練習やゲームで使い分けができる。 ・サーブ、アタック、レシーブなどの技能を身に付け、様々な攻め方や組織的な守り方ができる。 ・互いに協力し励まし合いながら進んで練習や競技を行うことができる。		
	9	●ダンス	・イメージをとらえた表現や踊りでの交流を通して、仲間とのコミュニケーションを豊かにする。	6	技能テスト 学習カード 定期テスト 学習への取り組み
	10	●柔道	・積極的に取り組み、仲間の良さを認め合うことなどに意欲を持ち健康や安全に気を配ることができる。 ・技ができる楽しさや喜びを味わい、武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開することができる。	10	

2 学 期	11	●ハンドボール	・基礎的、基本的な技能を身につけ、速い動きの攻め方や相手を決めて守り方が素早くできる。 ・課題や作戦などについて考え、練習に生かしていくことができる。 ・チーム内の役割分担をし、組織的な攻め方や守り方ができる。	10	技能テスト 学習カード 定期テスト 学習への取り組み
	12				
3 学 期	1	●長距離走	・記録の向上に関心を持ち、更に向上をしようとする態度をとることができる。 ・ラリーを続け、ボール操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 ・基礎的、基本的な技能を身につけ、速い動きの攻め方や相手を決めて守り方が素早くできる。 ・課題や作戦などについて考え、練習に生かしていくことができる。 ・チーム内の役割分担をし、組織的な攻め方や守り方ができる。	9	技能テスト 学習カード 定期テスト 学習への取り組み
	2	●バドミントン		10	
	3	●ソフトテニス		6	

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
運動や健康・安全への 知識・技能	・体力テストの測定方法を理解し、正確に実施したり、測定したりすることができる。 ・リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ることができる。 ・チームや自分の能力に適した課題の練習やゲームを通して集団的スキルや個人スキルを高めることができる。 ・体力測定の測定方法と結果の活用について理解することができる。 ・練習の仕方や場づくりの方法、練習計画の立て方、技のできばえの確かめ方を知ることができる。 ・競技の運営やルール・審判の方法を知ることができる。	☆技能テスト ☆学習の取り組み ☆定期テスト ☆学習の取り組み
運動や健康・安全についての 思考・判断・表現	・体力測定の結果を知り、日常生活において運動の生かし方を整理することができる。 ・練習の進め方や場づくりの方法を選んだり、技のできばえを確かめたりすることができる。 ・ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を選ぶことができる。	☆学習の取り組み ☆学習カードの記述
主体的に学習に 取り組む態度	・体力の意義と体力の高め方について関心を持ち、進んで安全に学習に取り組もうとすることができる。 ・仲間と協力して教えあったり、練習の場を整えたり、補助しあったりして進んで運動に取り組むことができる。 ・ルールや作戦に応じて、勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わうことができる。	☆学習の取り組み ・見学、欠席 ・提出物 ・安全面

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・授業に応じて適宜学習カードの提出があります。

5 教材等について

- ・教科書→新版 中学校保健体育（大日本図書）
- ・副教材→保健体育ノート（大日本図書）、ファイル

学習の指針（シラバス）

教科名	家庭科	実施学年	3年	週時数	0.5時間
-----	-----	------	----	-----	-------

1 学習の目標

- ・衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得できる
- ・家庭の機能について、理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくできる（特に消費・環境・福祉の学習を通して）

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4	●家庭生活と消費 ●商品の選択と ・商品購入のプロセス ・生活情報の活用 ・商品の価格	・身近な商品を物資とサービスに分類する。 ・筆箱の中身を確認し、適切な商品の選び方をしているか考える。 ・消費生活でのトラブルと解決方法、契約について学ぶ。	5時間	・学習プリント
	5	●よりよい消費生活のために ・消費生活のトラブルを防ぐ ・消費者の権利と責任	・消費者と販売者のロールプレイングを行い、消費者の権利と責任について考える。 ・消費者を支える機関や法律について知る。福祉について考える。	3時間	・ミシン作品 ・定期テスト
	6	・消費者を支えるしくみ ・ミシンで作ろう（ティッシュボックスカバー）	・消費者を支える機関や法律について知る。福祉について考える。 ・ミシンで小物づくりができる。		
	7				
第2学期	9	●環境に配慮した生活 ・環境への影響 ・エネルギー消費とCO ₂ 排出を減らす	・家庭のエネルギー消費や節水対策について班で話し合い、各家庭で実践し報告する。 ・持続可能な社会を考え、選択、購入、使用方法、廃棄まで考える。	4時間	・学習プリント
	10	・水を節約し、排水の汚れを減らす ・環境への影響を考えた消費生活 ・持続可能な社会へ向けて		3時間	・紙バンド作品 ・定期テスト
	11	・紙バンドでつくろう	・紙バンドで環境を考えた物作りができる。		
	12				
第3学期	1	●衣・食・住生活 日本文化	・和服の着方を体験する。	2, 5時間	・体験の感想
	2	・和服			
	3	●3年間をふり返ろう	・3年間の学習をふり返る。これからの家庭生活を考える。		

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
技能・知識理解	課題解決のために必要な基礎的な技術が身についているかを製作中の作業内容、作品の完成度、学習プリント、自己評価から評価します。基礎的な事項について理解し、知識を身につけているかを学習プリント、定期テスト、授業中の発表内容、自己評価から評価します。	・ 作品の内容 ・ 学習プリント ・ 定期テスト ・ 自己評価
思考・判断・表現	課題に対してどのように工夫して解決したか、見通しをもって製作することができたかを作品の内容、家庭での実践、学習プリント、自己評価から評価します。	・ 作品 ・ 学習プリント ・ 自己評価
主体的に学習に取り組む態度	生活や技術について関心をもち、進んで学習しようとする態度を身につけているか、毎時間の学習に取り組む姿勢を観察や自己評価から評価します。	・ 学習プリント ・ 授業中の姿勢 ・ 自己評価

4 家庭学習について

- ・ 定期テスト前には予想問題が配布されます。

5 教材等について

- ・ 教科書：技術・家庭科 家庭分野（開隆堂出版）
- ・ 副教材：作品材料（ティッシュカバー用布地・紙バンド）
- ・ その他：

学習の指針（シラバス）

教科名	技術科	実施学年	3年	週時数	0.5時間
-----	-----	------	----	-----	-------

1 学習の目標

- 生活や社会で利用されている情報の技術について基礎的な理解を図るとともに、それに係る技能を身につけ、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現することができる。
- よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を育てる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価	
第1学期	4 5	●生物育成に関する技術 ・生物の育成実習	・様々な生物の育成に必要な環境づくりについて、考え、発表することができる。 ・育成計画に基づいた生物を育成し、適切な環境を維持できるよう工夫し観察することができる。	17.5 時間	・定期テスト ・単元テスト ・植物レポート	
	6 7	●情報に関する技術 ・双方向性のあるコンテンツによる問題解決	・コンピュータが情報を処理する仕組みを知る。 ・ソフトを活用し、目的に応じた作品を作ることができる。			
	第2学期	9 10 11	・プログラムによる計測制御実習			・プログラムを組むことができ、プログラム通りに動かすことができる。
12		●これからの情報の技術	・情報の技術での学習をふり返り、技術の見方、考え方について考える。			
第3学期	1 2					

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
主体的に学習に取り組む態度	生活や技術について関心をもち、進んで学習しようとする態度を身につけているか、毎時間の学習に取り組む姿勢を観察や自己評価等から評価します。	・学習プリント ・学習への取り組み ・自己評価
思考・判断・表現	課題に対してどのように工夫して解決したか、見通しをもって作業することができたかを作業の内容、学習プリント、自己評価等から評価します	・作品 ・学習プリント ・自己評価
技能・知識理解	生活や技術に関する基礎的な事項について理解し、知識を身につけて、その技能を学習プリント、定期テスト、授業中の作業内容、自己評価等から評価します。	・作品 ・定期テスト ・学習プリント ・自己評価

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・ 日常生活で使用している様々な道具や機械に興味・関心を持ち、授業に臨むようにしてください。
- ・ 定期テスト前には予想問題が配付されます。計画的に学習を進めてください。
- ・ 生物育成の題材は、日頃の手入れと観察記録が大切になります。

5 教材等について

- ・ 教科書：技術・家庭科 技術分野（開隆堂出版）
- ・ 副教材：プログラミング教材（toio）、植木鉢

学習の指針（シラバス）

教科名	英語	実施学年	3年	週時数	4時間
-----	----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

学習の目標	・社会的な話題について、短い説明の要点をとらえることができる。 ・社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる。 ・社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。 ・社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。 ・社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。
-------	---

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価
第1学期	4	●Unit 0 Discover a New Side of Classmates ●Unit 1 What is special about Japanese pop culture?	・クラスメートと最近夢中になっていることやよくすることを伝え合うことができる。 ・日本のポップカルチャーの魅力について、経験や感想と共に伝えることができる。	・会話活動 ・定期テスト ・パフォーマンステスト
	5	●Real Life English 1 ディスカッション ●Unit 2 How do you choose your clothes? ●Real Life English 2 講演	・ディスカッションを聞き、自分の意見をまとめるために必要な情報を理解することができる。 ・人や環境にやさしいファッションの取り組みについて説明することができる。 ・社会的な話題に関する講演を聞き、話し手の伝えたい内容を理解することができる。	
	6	●Unit 3 How can we save animals? ●Real Life English 3 グラフや表の活用	・絶滅のおそれのある動物について知り、大切なことや取るべき行動について伝えることができる。 ・資料から読み取った情報について、事実と意見をわけて書くことができる。	
第1学期	7	●Stage Activity 1 Discover Japan ●Let's Read 1 A mother's Lullaby	・日本や郷土の文化などについて、詳しい情報を加えて説明することができる。 ・物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解し、気持ちをこめて音読できる。	

第2学期	9	●Unit 4 How can we help each other in a disaster? ●Real Life English 4 町中での手助け ●Unit 5 What makes a good leader ●Real Life English 5 記事への意見	・防災・安全への意識を高め、地域の一員としてとるべき行動を考えて伝え合うことができる。 ・相手の立場に立って、具体的な提案をしながら申し出たり応じたりできる。 ・ガンディーの功績を知り、平和や人権の意味について考えることができる。 ・社会的な話題について、理由や根拠を含めて自分の意見を書くことができる。	・会話活動 ・定期テスト(2回) ・パフォーマンステスト
	10	●Stage Activity 2 My Activity Report	・これまでの経験をふり返って活動報告を発表することができる。	
	11	●Unit 6 What does it mean to be a global citizen? ●Real Life English 6 テレビの国際ニュース ●Stage Activity 3 Let's Have a Mini Debate	・国をこえて助け合うことの大切さを知り、願いや思いを伝えることができる。 ・ニュースなどのテレビ番組の音声を聞いて、概要や要点を理解することができる。 ・主張とその理由を明確にしながら、ミニディベートをすることができる。	
	12	●Let's Read 2 Power your Future ●Let's Read 3 Coloring Outside the Lines	・エネルギー問題に関する説明文を読んで、概要を理解し、自分の考えや意見を述べることができる。 ・伝記を読んで、人物のあゆみや功績を読み取り、自分の感想を述べることができる。	
第3学期	1 2 3	●既習事項の復習、ワークまとめ ●入試問題対策	・これまでの既習事項を振り返り、知識や理解を深められる。 ・入試対策問題を通して、既習内容の振り返りをすることができる。	・会話活動 ・定期テスト ・パフォーマンステスト

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	・Unitの内容に関する語句や、学習した言語材料の特徴やきまりを理解している。 ・実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて伝え合う	・会話活動 ・定期テスト

	技能を身に付けている。	
思考・判断・表現	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり、伝え合ったりしている。	・会話活動 ・定期テスト ・パフォーマンステスト
主体的に学習に取り組む態度	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてやり取りしようとしている。	・会話活動 ・パフォーマンステスト ・授業態度の観察

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

予習と復習については、英語が得意だという人は、家庭で予習を行い、授業で復習するスタイルの家庭学習が理想だと思います。反対に、英語が苦手だという人は、その日のうちに家庭で復習するスタイルの家庭学習が理想だと思います。どちらが自分に必要かを考え、実践してみてください。

5 教材等について

①教科書（New Horizon English Course 3）

②ワーク（JOYFUL WORKBOOK 3）

③多くの授業でタブレット PC を使用します。